

広瀬川創生プラン策定推進協議会設置要綱

(平成16年6月18日市長決裁)

(設置)

第1条 杜の都仙台のシンボルである広瀬川を市民と行政との協働による取り組みにより将来にわたって保全し、広瀬川の新たな魅力を創出するための市民行政共通の行動計画として「広瀬川創生プラン」(以下「プラン」という。)を策定し総合的に推進するため、「広瀬川創生プラン策定推進協議会」(以下「協議会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について検討し、協議を行う。

- 一 市民と行政との協働によるプランの策定に関すること
- 二 市民と行政との協働によるプランの推進に関すること

(組織)

第3条 委員会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、関係機関の職員、学識経験者、企業及び市民団体のうちから市長が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長)

第5条 協議会に会長を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 会長に事故あるときは、会長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 会長は、協議会の会議を招集し、その議長となる。

2 協議会の会議は、委員の過半数が出席をしなければ開くことができない。

3 会長は、必要があると認めるときは、会議に関係者の出席を求め、その意見を聴き、又は説明を求めることができる。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、建設局百年の杜推進部百年の杜推進課において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成16年6月18日から実施する。

この要綱は、平成19年3月1日から実施する。

この要綱は、平成19年4月1日から実施する。

この要綱は、令和4年4月1日から実施する。

仙台市

からのご案内

アイラブ 広瀬川

広瀬川創生プラン

広瀬川に関する活動に取り組む団体を応援します

広瀬川魅力創生サポーター認定制度

企業などの
イメージアップや
活動のアピールに

広瀬川創生プラン取組事業に関する活動（運営など）を行っている団体を
“**広瀬川魅力創生サポーター**”として仙台市が認定し、その取り組みを応援します
市民、NPO、事業者、行政の協働で広瀬川の魅力創生に取り組みましょう！

サポーターの種類と支援の内容

活動に応じて
グリーンからゴールドへ
ステップアップ



広瀬川

グリーンサポーター

仙台市ホームページで
活動を紹介



広瀬川

ゴールドサポーター

仙台市HPで
活動を紹介

認定証を
交付



認定要件・申請の流れは裏面へ

申請・お問合せ先

仙台市建設局百年の杜推進課
広瀬川創生係
TEL : 022-214-8327

認定申請書のダウンロード
その他詳細はこちらへ

仙台市ホームページ



<https://www.city.sendai.jp/hirosegawasose/ninteiseido.html>

認定要件（活動実績）と申請の流れ

どんな活動をすると
認定されるの？



広瀬川グリーンサポーター

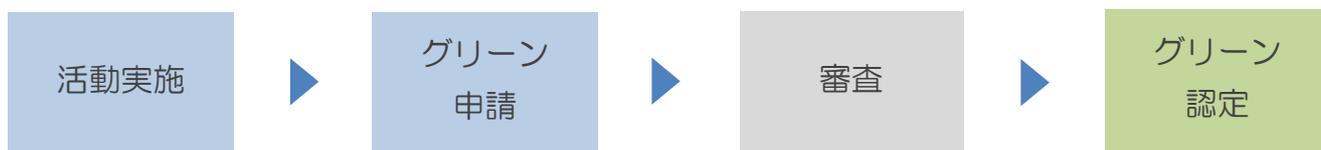
広瀬川創生プランの取組事業(※1)に延べ 10 人以上従事

※1 申請の前年度～当該年度に開催されたもの

取組事業と活動の例

- 「広瀬川 1 万人プロジェクト」などの清掃活動に参加
- 「広瀬川で遊ぼう」などのイベントの運営に従事

取組事業一覧は
仙台市 HP へ



広瀬川ゴールドサポーター

グリーンサポーターの認定期間中に次のいずれかの活動に従事

- ✓ 「広瀬川 1 万人プロジェクト」清掃活動の会場事務局（又は補助）を 3 年以上担当
- ✓ 広瀬川創生プランの重点事業の主催団体（又は補助）として 2 回以上(※2)活動

※2 うち 1 回は重点事業以外の事業（多くの市民が参加できて
広瀬川の保全や賑わいづくりに貢献する取組）でも可

これまでの重点事業の例

- 広瀬川で遊ぼう
- 作並かつぱ祭り
- 広瀬川 1 万人プロジェクト

現年度の重点事業は
仙台市 HP へ



※3 広瀬川創生プラン策定推進協議会の意見聴取

認定の有効期間 2 年間

対象団体 NPO、企業など

広瀬川創生プラン 取組事業



自然を守る清掃活動や川に親しむイベントなど、広瀬川ではたくさんの活動が行われています。「広瀬川創生プラン」には広瀬川に関する様々な取組事業を掲載していますので、興味のある活動にぜひ参加してみてください。

仙台市民と広瀬川との関わりの状況、及び仙台市民の広瀬川創生へのニーズ等を把握するために、仙台市民を対象としたアンケート調査を実施した。可能な項目は、平成 13 年度に実施したアンケート調査と比較している。

調査の概要は次の通りである。

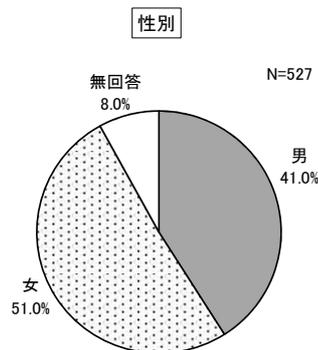
【市民へのアンケート調査の概要】

調査対象	仙台市在住20才以上の男女 1,500人 回収数 527人（回収率35.1%） ・平成26年4月1日現在の住民基本台帳より、学校区別に比例無作為抽出。ただし、広瀬川流域の中学校区在住者のサンプルを一定数確保できるように、抽出数を調整した。 ＊標本数の配分方法 ・仙台市内の63中学校区を単位層とし、各層毎の母集団の大きさに基づき、まず1,082サンプルを比例配分した。 ・次に、広瀬川流域の14中学校区については、各標本数が50となるように、418サンプルを補充した。 ・なお、集計の際には、補充した分を割戻して計算している。
調査時期	調査票送付：平成 26 年 10 月 21 日 回答期限：平成 26 年 11 月 3 日
調査方法	配布，回収とも郵送によるアンケート調査
調査項目	・広瀬川のイメージ等 ・広瀬川に関わる活動 ・広瀬川の将来像

◎ 回答者のプロフィール

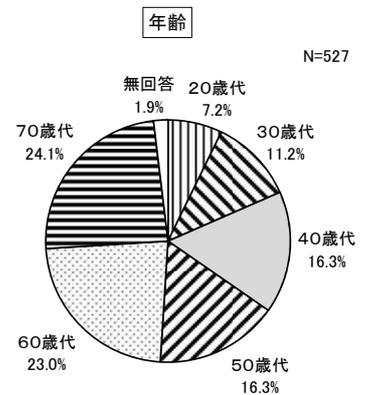
性別

- ・男性 216人
- ・女性 269人
- ・無回答 42人



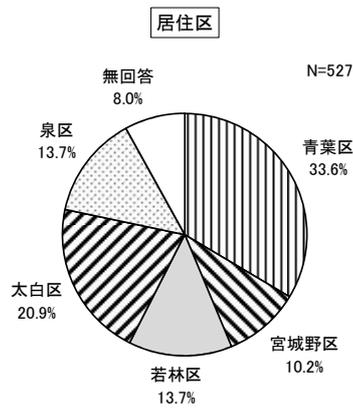
年齢

- ・20歳代 38人
- ・30歳代 59人
- ・40歳代 86人
- ・50歳代 86人
- ・60歳代 121人
- ・70歳代 127人
- ・無回答 10人



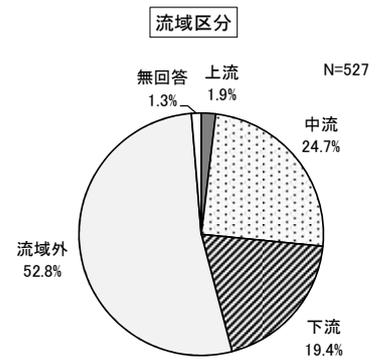
居住区

- ・青葉区 177人
- ・宮城野区 54人
- ・若林区 72人
- ・太白区 110人
- ・泉区 72人
- ・無回答 42人



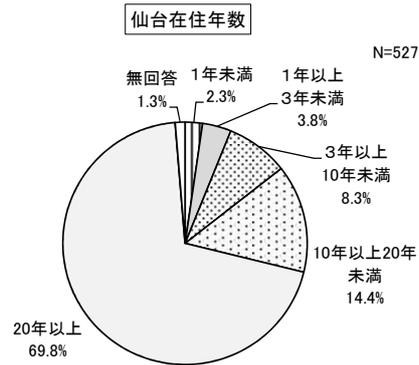
流域区分

- ・上流 10人
- ・中流 130人
- ・下流 102人
- ・流域外 278人
- ・無回答 7人



仙台在住年数

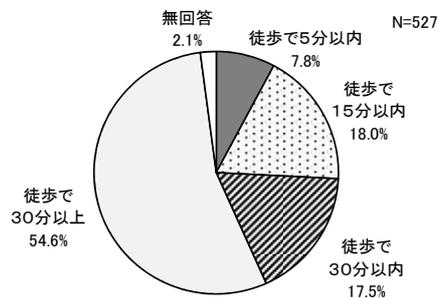
- ・1年未満 12人
- ・1年以上3年未満 20人
- ・3年以上10年未満 44人
- ・10年以上20年未満 76人
- ・20年以上 368人
- ・無回答 7人



住まいから「広瀬川」までの距離

- ・徒歩5分以内 41人
- ・徒歩15分以内 95人
- ・徒歩30分以内 92人
- ・徒歩30分以上 288人
- ・無回答 11人

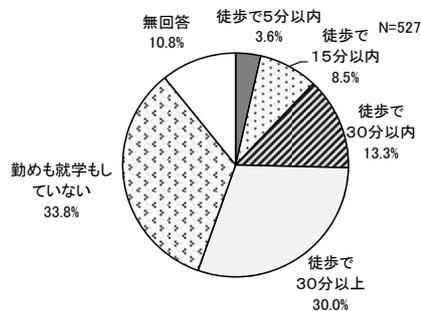
住まいから「広瀬川」までの距離



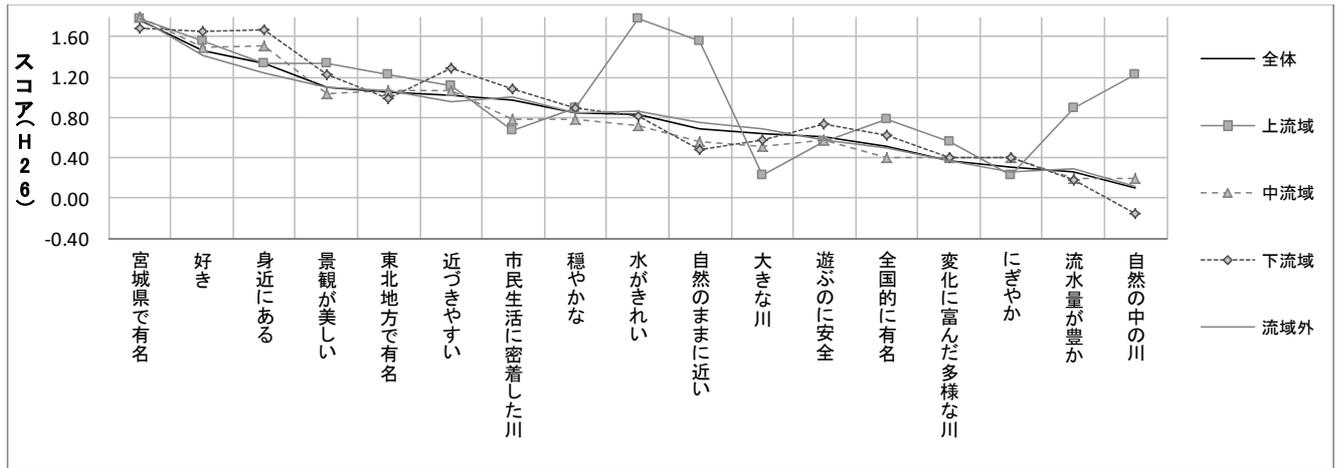
職場・学校から「広瀬川」までの距離

- ・徒歩5分以内 19人
- ・徒歩15分以内 45人
- ・徒歩30分以内 70人
- ・徒歩30分以上 158人
- ・勤めも就学もしていない 178人
- ・無回答 57人

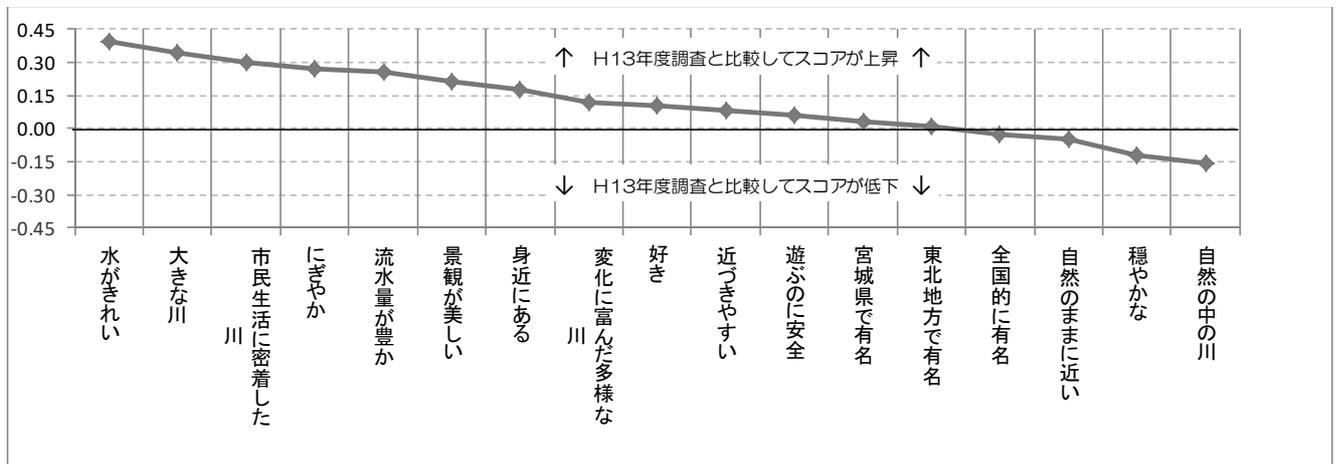
学校・職場から「広瀬川」までの距離



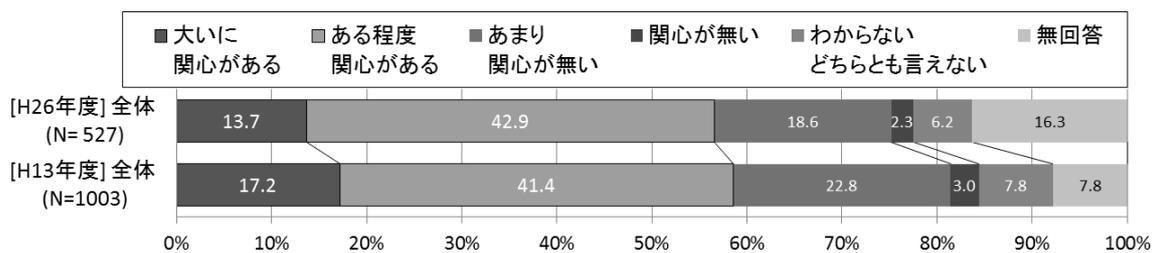
○ H26年度 流域ごとのスコア比較



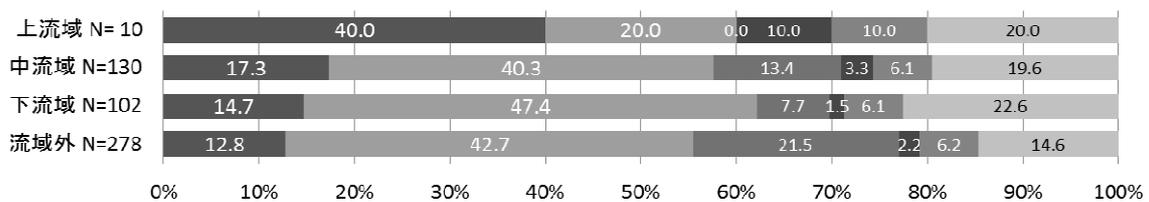
○ H13年度のアンケート調査時とのスコア比較 (H26スコア - H13スコア)



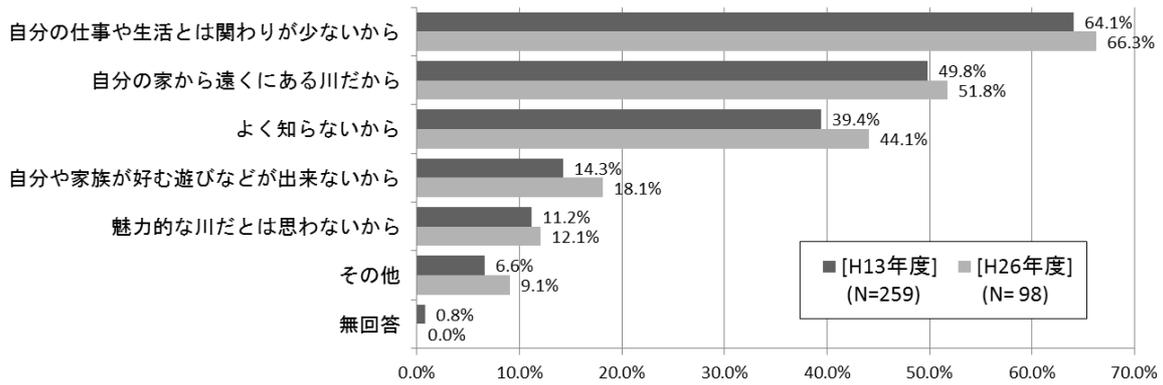
◎ 広瀬川に対する関心



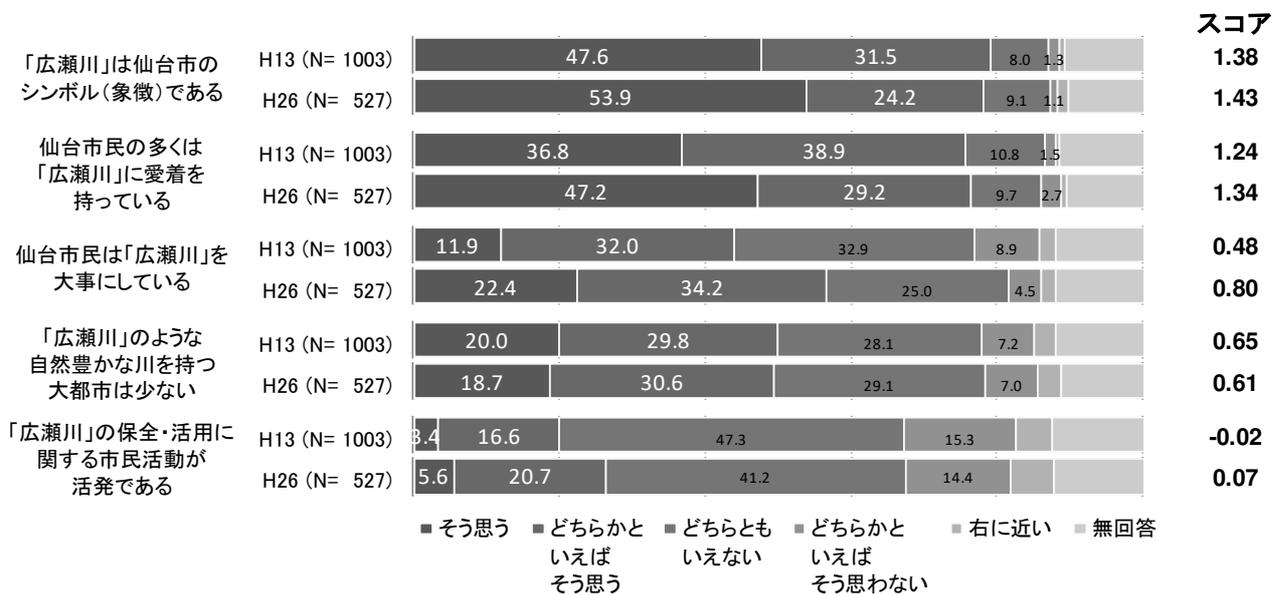
○ H26年度 流域ごとの関心の比較



○ 「関心が無い」「あまり関心が無い」と答えた理由 (複数回答可)

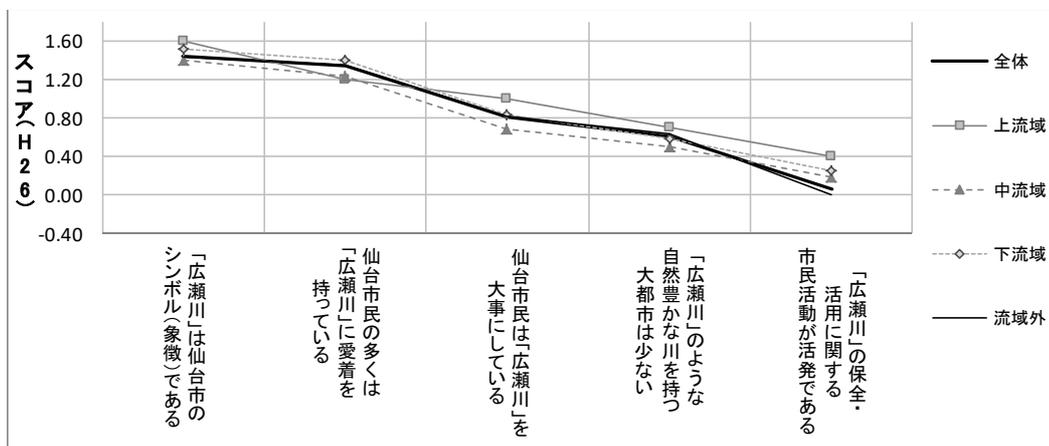


◎ 広瀬川に対する考え

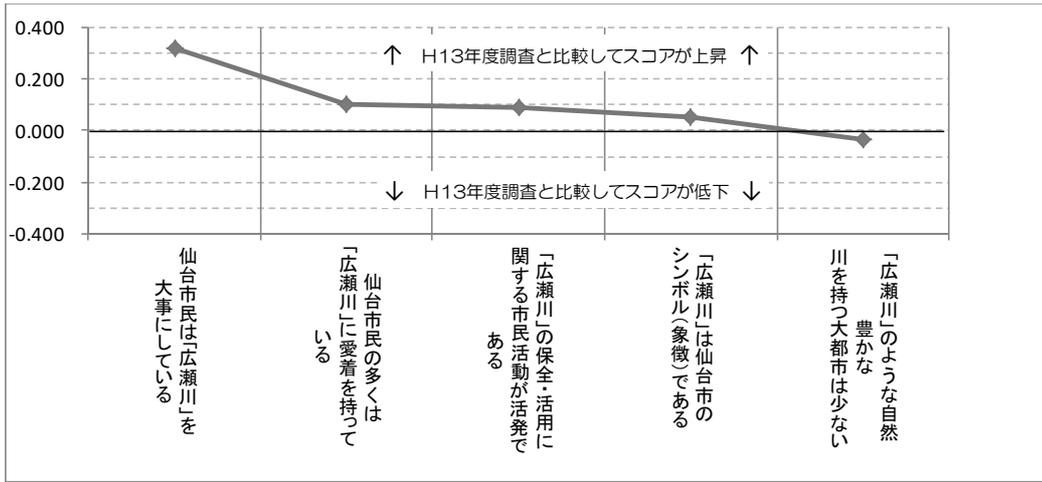


注) グラフ中のスコアとは、各項目において、「そう思わない」を-2点、「どちらかといえばそう思わない」を-1点、「どちらともいえない」を0点、「どちらかといえばそう思う」を1点、「そう思う」を2点と換算し、その平均点を示している。項目はスコアの降順に並び替えている。

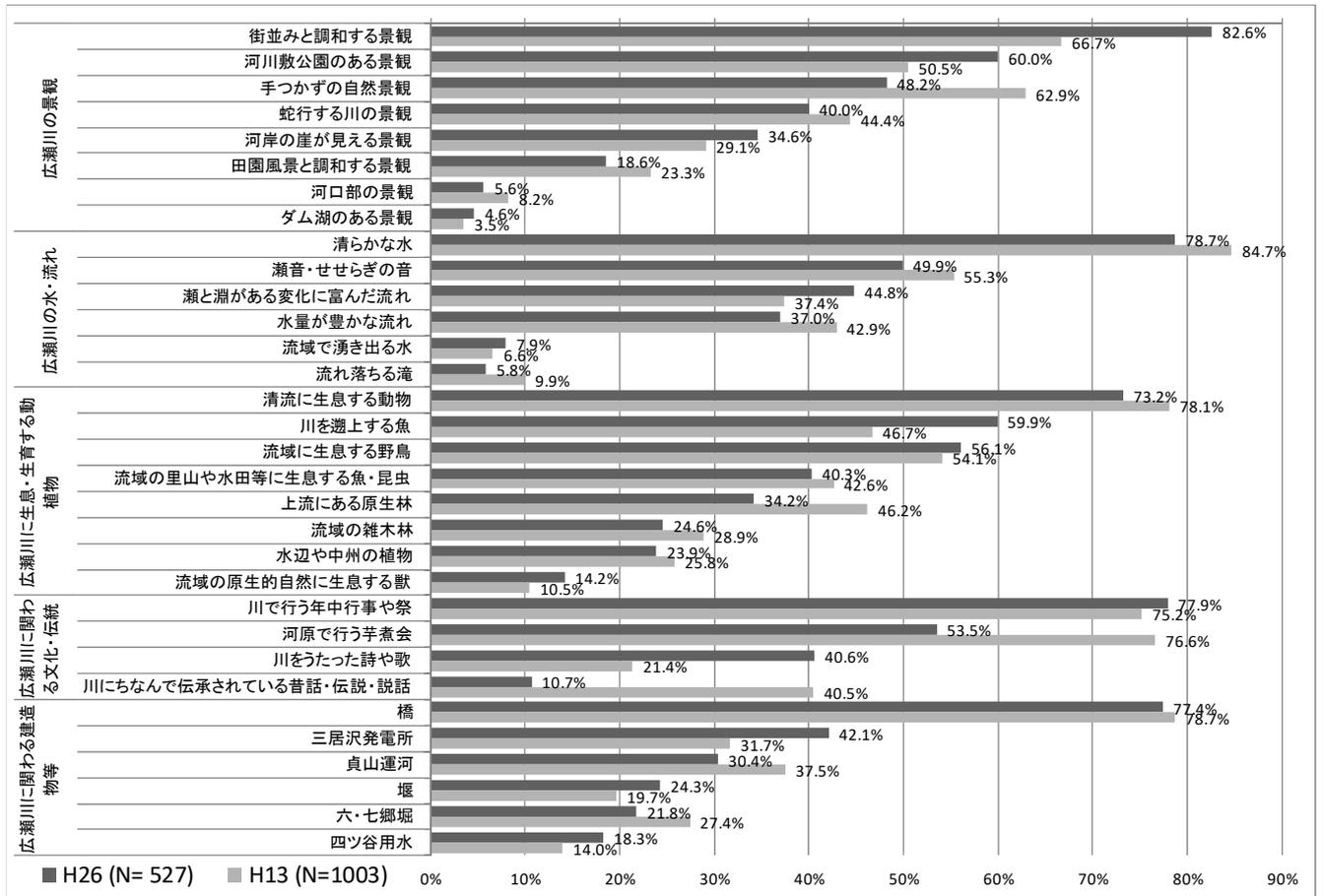
○ H26年度 流域ごとのスコア比較



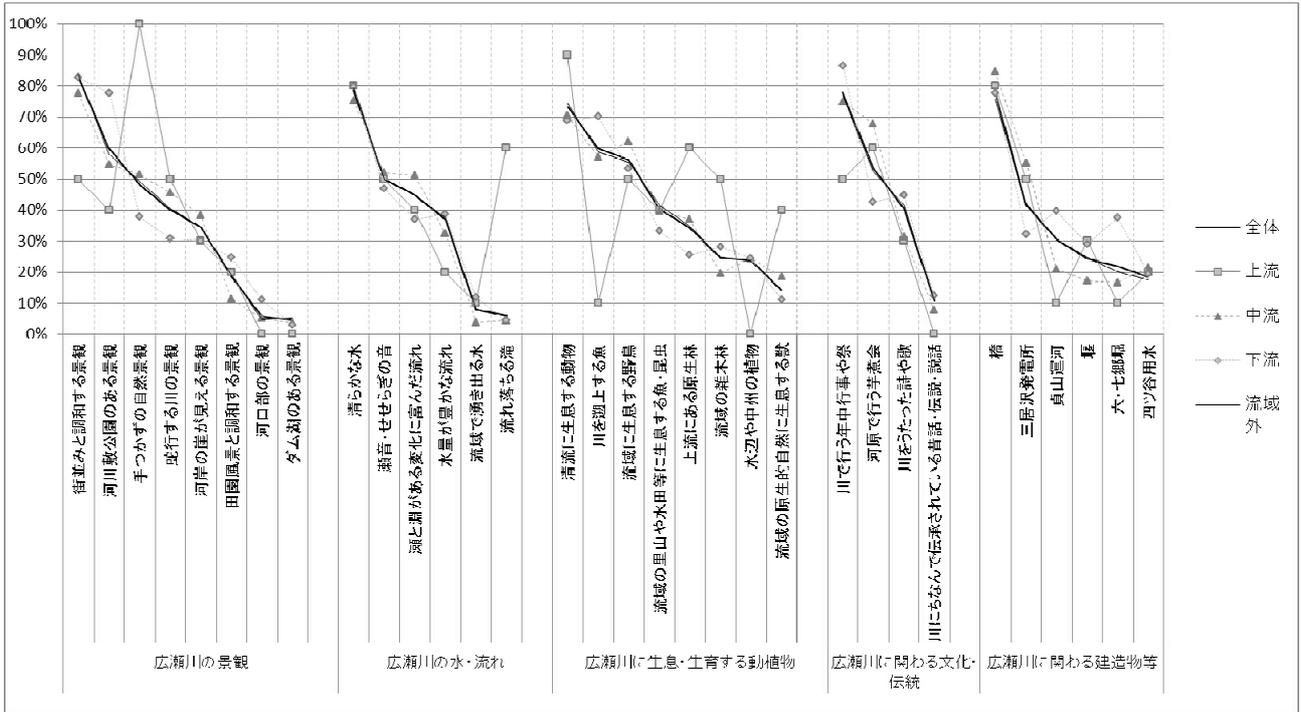
○ H13年度のアンケート調査時とのスコア比較 (H26スコア - H13スコア)



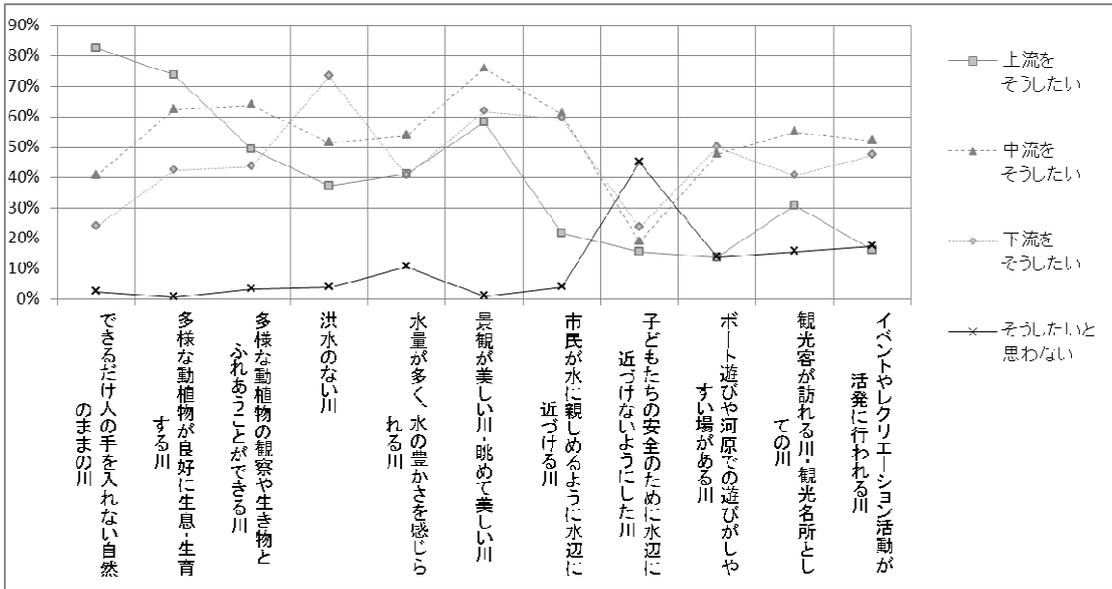
◎ 広瀬川の将来像 (次代に引き継ぎたいもの、複数回答可)



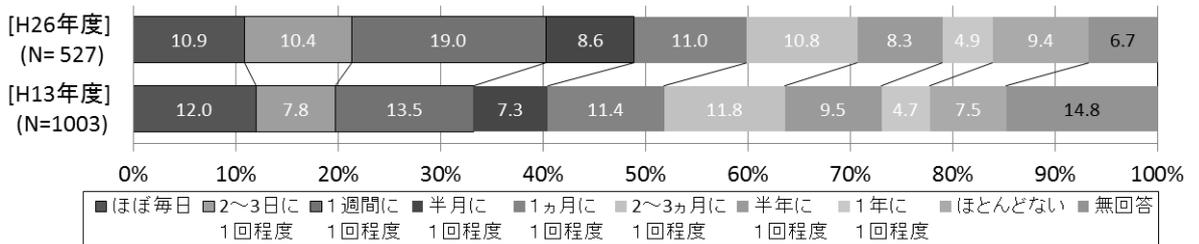
○ H26年度 流域ごとの比較



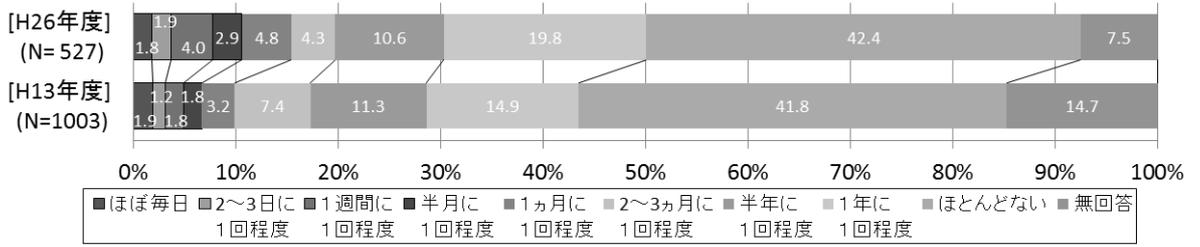
◎ 広瀬川の将来像 (流域ごとのあるべき姿)



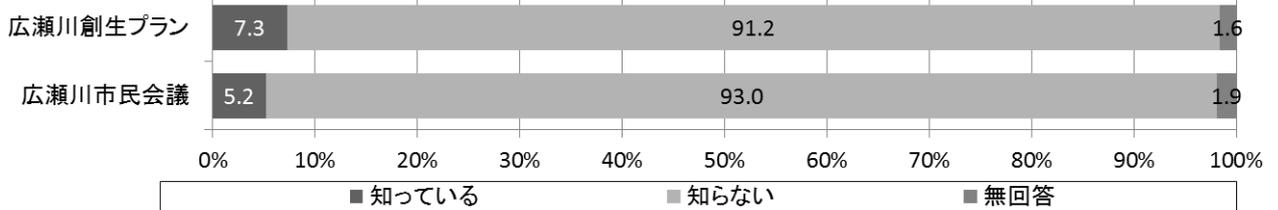
◎ 広瀬川を見る頻度



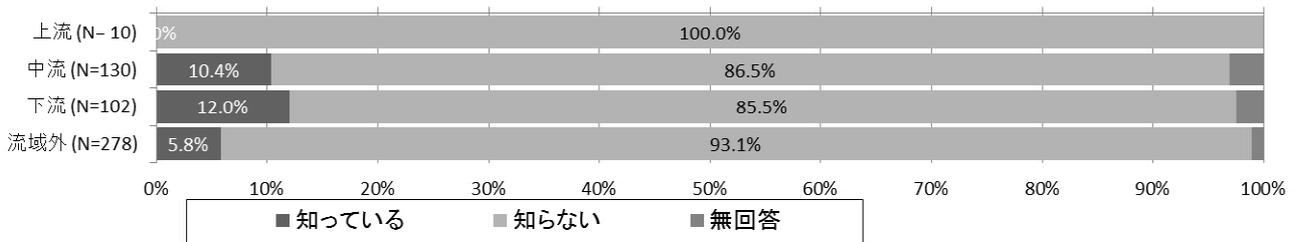
◎ 広瀬川の水辺を訪れる頻度



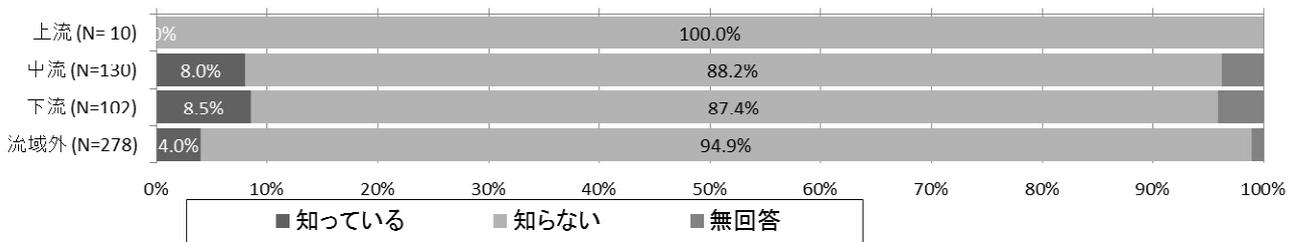
◎ 広瀬川創生プラン・広瀬川市民会議の認知度



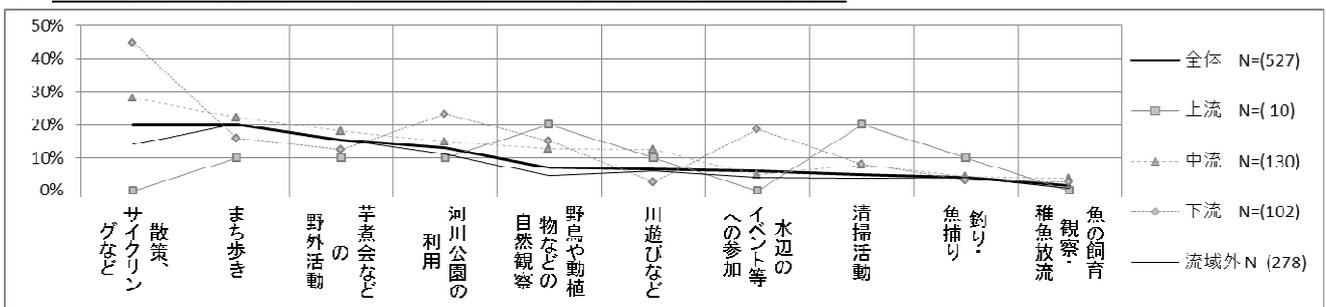
○ 流域別 広瀬川創生プランの認知度



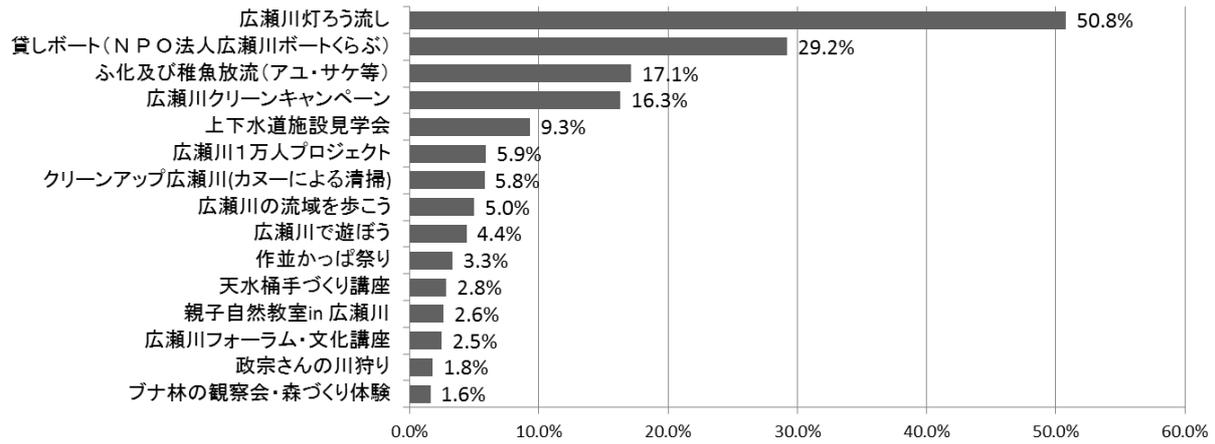
○ 流域別 広瀬川市民会議の認知度



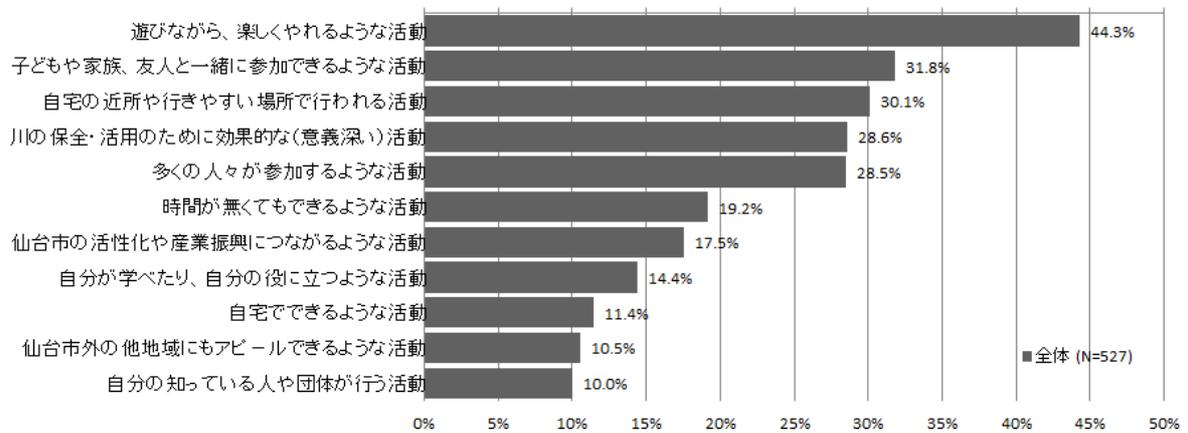
◎ ここ数年の間に、広瀬川で行なった活動（複数回答可）



◎ 広瀬川創生プランに掲載されている事業のうち、知っている事業 (複数回答可)



◎ 協力してみたい、または、より参加・協力しやすくなる市民活動の在り方



広瀬川創生プラン 令和5年度取組事業一覧

参考資料4

 : 令和5年度に新規で追加された取組事業
 : 令和5年度重点事業



No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介	R5年度実施状況
1	広瀬川創生プラン策定推進協議会	広瀬川創生プランにおける重点事業の実施と進行管理	重点事業の設定段階から、各主体が協働し、役割分担に応じプランの重点事業を実行・進行管理する。	継続
2		広瀬川ゴールドサポーター認定に対する意見の発信	広瀬川ゴールドサポーターの認定・不認定の決定にあたり、仙台市の審査結果に対して意見を発信する。	継続
3	広瀬川市民会議	広瀬川で遊ぶ	広瀬川への関心を高めるために、5月のGW期間中に若林区宮沢緑地でイベントを実施する。	継続 (R5は実施無し)
4		作並かつば祭り	広瀬川上流域で、子供たちが川に親しむためのイベントを開催する。	継続 (R5は実施無し)
5		親水空間の利活用の検討推進	広瀬川における親水空間の利活用を推進するための検討を行う。	継続
6		広瀬川市民会議の拡充	事務局体制の確立を図るとともに、活動を通じて他の団体との連携拡大を図りながら、多くの市民が参加できるよう組織を拡充する。	継続
7		広瀬川市民協働基金(市民ファンド)の設立・運営	基金のあり方を検討し、市民・企業等に協賛の呼びかけを行い、基金設置後はその運営を担う。	継続 (R5は実施無し)
8	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会	広瀬川1万人プロジェクト	仙台市人口1%の1万人をキーワードとして、流域一斉清掃などの啓発活動を実施する。なお、秋の流域一斉清掃は「広瀬川の清流を守る条例」公布日にちなみ、9月の最終土曜日に実施している。	継続
9	(公財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク	「身近な水環境の全国一斉調査」への参加(広瀬川の水質調査)	毎年6月に全国水環境マップ実行委員会が実施する「身近な水環境の全国一斉調査」に参加し、広瀬川の上流から下流までの数地点の水質調査を行う。	継続
10		「水の神さま」プロジェクト	地域に祀られている龍神碑・水神碑・不動尊など水にまつわる神さまを題材に、地元住民へのヒアリングを通して、地域住民の水に対する思いや水辺の変化などを踏査・発信する。震災後は沿岸地域を中心に調査・発信を実施。	継続
11		水環境学習における指導者向け入門講座	水環境学習を手がける学校教諭・市民活動者などを対象に、SDGsの視点も取り込んだ水環境学習に対する基礎的な理解のためのセミナーなどを実施する。	新規(R5年度は3月26日に実施)
12	(公財)日本野鳥の会 宮城県支部	定例探鳥会の実施	大橋からの野鳥観察を含む青葉山定例探鳥会を、主に毎月第1日曜日に開催しており、その他にも千代大橋付近の野鳥を観察する広瀬川下流探鳥会を6月と3月に開催している。	継続
13	広瀬川ミズベリング実行委員会	広瀬川ミズベリング	【趣旨】 広瀬川を舞台にした事業創発の場を開き、潜在的な広瀬川活動人材を掘り起こすため、プレゼン発表の場をつくるとともに、水辺で乾杯を通じて、立場を超えた一体感をつくりだす。 【第一部】プレゼン大会 市民から広瀬川での企画アイデアを広く募集(特に若年層)し、書類審査(応募数が多い場合)と公開審査を行う。 【第二部】水辺で乾杯 これからの広瀬川の利活用(せんだいセントラルパーク等)についての望想を産・官・学・金・民で語り合いながら、広瀬川河川敷にて「水辺で乾杯」を行う。	7月7日に実施
14	(特非)都市デザインワークス	せんだいセントラルパーク構想	社の都仙台のシンボルである青葉山や広瀬川が地下鉄東西線と交差する広瀬川流域一帯において、資源発掘や“5つの楽しみ方 佇むピクニック 巡るまち歩き・集うマーケット・知るミュージアム・食のカフェレストラン”を提案し、市民の参加・共感を広げる構想。	継続
15		伊達な川床	全国都市緑化フェアにおいて、官民協働により、河川空間の自然を楽しめるような伊達(人目をひくオシャレ)な仮設の川床を設置し、広瀬川大橋周辺を市民も観光客も訪れることができる名所とする。	継続 (R5は実施無し)
16		大橋リバーフロントプロジェクト	大橋を中心とした広瀬川河川空間及び、広瀬川に面する青葉山公園(仮称)公園センター、西公園、住宅や店舗、またその庭先等のまち空間を、一体的なせんだいセントラルパーク重点エリアと位置づけ、全国都市緑化フェアにおいて、都市生活や活動賑わいの小さな拠点(パークハウス)を設置し、沈下橋や潜り堰または飛び石による歩行者ネットワークを創出する等して、広瀬川大橋周辺を市民も観光客も訪れることができる名所とする。	継続 (R5は実施無し)
17		広瀬川自転車ライド	環境に優しく心身の健康に繋がる「自転車」を活用し、広瀬川の河川敷をルートに含むグループライドを実施し、新しい生活様式に合ったレクリエーションのあり方を提示する。	継続 (R5は実施無し)
18	仙台市カヌー協会	カヌーで河川清掃「クリーンアップ広瀬川」	カヌーで河川清掃「クリーンアップ広瀬川」& 体験会は、毎年8月お盆翌週の日曜日開催しています。お世話になっている広瀬川の岸辺に漂着したゴミを川の中から清掃します。午後は、新しい仲間を迎える「カヌー体験会」を同じ会場で開催しています。お一人さまはもちろん、ご家族、お友達でチャレンジください。	継続
19		カヌーリバーレスキューワークショップ	リバーピープル必須のレスキュー方法をワークショップ形式で開催しています。カヌーに関わらず多くの川遊びの皆さんを対象に募集しています。水の事故から自身を守るため、ライフジャケット着用での流下方法、ロープレスキュー方法をこの機会に体得ください。	継続 (R5は実施無し)
20		広瀬川カヌーツーリング・そのためのレッスン	5~11月 広瀬川でカヌーツーリングを楽しむための4回シリーズのカヌーレッスン。卒業後は落合から折立まで3.5kmの川旅にチャレンジです。	継続
21		市民総体カヌーファンズラーム大会	カヌーのツーリング・レスキュー技術をゲーム形式にしたものです。年齢、性別、国籍一切不問で楽しんでいるカヌー仲間ですが、この試合では良きライバルに。試合後は、鍋を囲みつつ互いの技術を賞賛する場になっています。	継続
22		カヌー体験会	シーズン4~5回、河川清掃後などのイベントに合わせて「カヌー体験会」を開催しています。短い時間ですが、カヌーを通じて川に親しんでいます。体験会のまともはプッチーリング。ふわふわする水面。川から見上げる景色をお楽しみください。	継続

No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介	R5年度実施状況
23	(特非)広瀬川の清流を守る会	広瀬川市民会議との協働	1980年任意団体として発足。1974年仙台市が「広瀬川の清流を守る条例」に定めた市長、事業者、市民の責務を明確にした市民協働の川づくりに共感し「広瀬川の清流を守る会」と命名しました。2001年4月(特活)法人化。「広瀬川の治水・利水・環境」のバランスある川づくり活動をしています。本会は水面から市民、関係者と清流保全活動を推進し、広瀬川の自然、歴史、文化を守りながら後世に伝える活動を進めてきました。水辺を環境学習の場とし、五感で感じる川体験や魚の観察、ホタルが生息する小川のホタル観察会を開催し、他団体との協働から身近で学ぶ機会を展開してきました。 (以下活動紹介) ○NPO法人として河川法や諸法令、条例に基づき、治水・利水・環境のバランスある川づくりを目指します。 ○川活動並びに毎月発行の川守通信を通し、行政、市民、事業者と協働し、「いい川づくり」を目指します。 ○川の魅力発見 ・清掃しながら川観察、春夏秋冬の会員相互の親睦会開催(花見・アユ、芋煮、サケを味わう) ・春夏に遡上するアユ、サクラマス他回遊魚の観察 ・冬に飛来するオオハクチョウの観察、植物等、四季を通して観察します。 ・水面の川学習を支援します。 ○活動の参加 ・河川清掃⇒4月～12月、翌年3月/第2土曜日午前10時～12時 ・広瀬川灯籠流し⇒8/20 ⇒ボランティア参加の方へ(無料招待/8月アユ祭り・11月サケ祭り) ○SDGs & ESDの実践 ・国交省の河川協力団体(2014年指定)として双方支援活動を継続推進します。 ・広瀬川の課題解決に向け、行政と市民そして関係団体と共に協議し、活動します。 ・広瀬川の自然、歴史、文化を学ぶ場を作り、後世に伝えます。 ・広瀬川を学ぶ ⇒川を見る、知る、語る、そして皆で考える「いい川づくり」を目指します。 ・安全な川遊び⇒場所/八本松親水池(ハリアフリーの水辺で安全な水遊び・メダカ取りができます。) ・自然の再生⇒広瀬川の濁水改善、身近な水路(四谷用水、郡山堀、木流堀、旧笹川)の自然、歴史 ・水路の再生⇒ホタル飼育と再生	継続
24		広瀬川清掃		
25		漁協共催 五感で感じるアユ、サケ掘りイベント		
26		広瀬川何でも相談室		
27		川づくり提言・市民協働フォーラム開催		
28		国交省「水辺・絆プロジェクト2022」(笹流し・水辺で乾杯/八本松(親水池)、「水面から学ぶ街づくり」講演会開催)		
29	(特非)広瀬川ボートくらぶ	広瀬川でボート遊び(貸しボートの運営)	宮沢緑地で貸ボートを行うもので、「広瀬川で遊ぼう」などのイベントとも連携し市民の広瀬川への関心を高める。	継続 (休止中)
30	広瀬川灯ろう流し実行委員会	第34回広瀬川灯ろう流し「光と水とコンサートの夕べ」	夏の風物詩として、先祖や大切な人への思いは馳せる灯ろう流しや天燈節・竹灯ろう展示、地域団体のステージ発表などを実施する。	継続
31	森民酒造・及川酒店	純米吟醸酒「清流広瀬川」	広瀬川の伏流水と県産米<蔵の華>で仕込んだ純米吟醸酒を製造・販売する。	継続
32	関山街道フォーラム協議会	関山街道の四季フォトコンテスト2023	令和4年度に開催した『関山街道の四季フォトコンテスト』を継続し、宮城・山形両県をつなぐ関山街道(国道48号)沿線の四季折々の魅力を写した、お気に入りの写真を募集いたします。 新型コロナウイルス感染拡大等で落ち込んでいる地域の活性化、観光交流の増加につながることを期待し、応募いただいた写真は、国内外に情報を発信できればと考えています。	継続
33		関山街道作並地区を巡る探訪会～「関山街道開鑿殉難之地」の碑での慰霊の集いと隠れ滝探訪～	仙台市青葉区作並にある、関山街道の歴史を今に伝える「坂下境目御番所跡」の「関山街道開鑿殉難之地」の碑(広瀬川源流端の標柱)で慰霊の集いと作並温泉の隠れた名瀑布「熊沢大滝(作並大滝)」や「隠れ滝」の探訪を行います。 ※明治13年7月21日(1880年)「坂下境目御番所跡」で、関山隧道掘削のための火薬の爆発事故で犠牲になられた23名の方に、ささやかな祈りをささげます。	継続
34	白沢カルデラプロジェクト実行委員会	白沢カルデラ外輪山を歩こう会(白沢カルデラ実働部隊)	白沢カルデラ・広瀬川の地質、地形等の自然資産を活かして、地域における大地の成り立ちや歴史を学び、将来的には広瀬川ジオパークとしての登録を目指します。 具体的には以下の活動を実施予定です。 ①事業予算の獲得 ②古仙台湖のカンパ作成・展示 ③広瀬川の本流、支流の露頭調査継続 ④パネル・写真展示会 ⑤小・中学校へのPR、野外授業の検討 ⑥旧宮城地域町内会連合会へのPR等(完成したパンフレットで地域町内会連合会へのPR活動を実施)	継続
35	西公園プレーパークの会	第40回全国都市緑化仙台フェアグリーンアクティビティゾーンでの体験プログラム	グリーンアクティビティゾーンは、青葉山、大橋、広瀬川の眺望を楽しみ、遊びを通して自然とのふれあいを体感できるエリアです。遊びながら自然を体感できるプログラムや、植物観察などをテーマとしたワークショップなどを開催するほか、子どもが自由に遊ぶことができる空間などを創出します。西公園プレーパークの会では、開催中に数日間遊びのプログラムを実施予定です。	仙台フェア期間中に実施
36	カワラカイ	ミズベフェスタ	ミズベフェスタの開催 広瀬川に賑わいを出すために、親子をメイン対象にしたイベントを開催 川のプログラム・水辺のスポーツプログラムに続き、アウトドアプログラム(火おこし、テント張り・ロープワークなど)を実施予定 水辺に賑わいと教育機会の創出を行っています。 2022年度は、2021年度に行ったプログラム プラスα(マルシェ・キャンプ・BBQなどにチャレンジ:主催者側に学生や主婦を増やし、地域の人を巻き込み、リーダー育成を行う)	継続 (R5は実施無し)
37	仙台商工会議所青年部	Art Standing in SENDAI	壁画の維持管理を行い、灯籠流しのイベントの際に令和4年度に描いた壁画をご紹介頂きます。また、令和5年10月中に近隣の小中学生と壁画を描く前の状態へ現状復旧を予定しております。	10月に現状復旧済み

No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介	R5年度実施状況
38	仙台河川国道事務所	河川水辺の国勢調査	河川を「環境」の観点からとらえた生物調査・河川調査・河川空間利用実態調査を定期的に行う。	継続
39		広瀬川及び旧策川環境用水導入事業	広瀬川の水環境を守ることを目的に、夏場の水量の問題を改善するために、既存の水路を活用して名取川からの環境用水導水施設の整備をH16年3月に完了した。流量低下時に名取川から河川水を導水する。 (仙台地域水循環協議会にて実施、仙台河川国道事務所は事務局)	継続 (R5年度は3月6日に実施)
40		緊急用河川敷道路整備事業	大地震等の大災害時において、被災者の救援活動、被災地の復旧活動及び物資の輸送等に活用できる緊急用河川敷道路を整備する。	継続
41		河川利用の適正化検討	河川協力団体と連携し、市民目線で見えた適正な河川利用のためのルール作りを検討し、河川利用者への啓発活動を実施する。	継続
42		非接触流量観測(電波式流速計)	広瀬川の治水計画立案や工事の実施、又、大規模洪水時の基礎資料を収集する目的で、広瀬川広瀬橋へ電波式流速計を設置している。従来は、浮子(高水流量観測)を用いて流速を観測していたが、流量観測の効率化(DX)や安全管理を徹底するため、非接触型流量観測を実施している。	新規(10月以降、広瀬橋へ設置・観測)
43	仙台北土木事務所	みやぎスマイルリバープログラム(アドプト制度)	宮城県管理河川の一定区間において、清掃や除草などの良好な河川環境づくりに取り組むボランティア団体を「スマイルサポーター」として認定し、地域と連携して環境美化を行う。	継続
44		中州・寄州の樹木管理	中洲・寄州の樹木や土砂について、H17年に策定した広瀬川管理計画に基づき適正管理を行う。	継続
45		広瀬川環境管理協議会	広瀬川管理計画に基づく管理を行い、周辺状況の変化など必要に応じて協議会を開催する。	継続 (R5は実施無し)
46	仙台河川国道事務所	護岸の改修・修景	コンクリート護岸の老朽化に伴う改修と同時に、修景を必要な箇所順次対応する。	継続
47	仙台北土木事務所	当事者との調整	河川敷の占用をしている人や団体との調整を行い、不法占用を解消する。(広瀬橋から下流は国が、広瀬橋から上流は県がそれぞれ実施。)	継続
48	国立研究開発法人 土木研究所 宮城教育大学 仙台市河川課	竜の口渓谷多自然川づくり事業	令和元年度、広瀬川から竜の口渓谷へ魚類(ヤマメ等の遊泳魚、など)の遡上が可能となるよう、落差工に低コストな切欠き魚道を設置した。設置後は、魚道の設置効果を検証するため、モニタリング調査(施設安定性調査、魚類相調査)を実施してきた。また、本取り組みと並行して、市民向けワークショップ、工事見学会、意見交換会、勉強会等を開催し、魚道設置を契機として河川環境に対する市民の理解・関心を深めることができています。	継続
49	健康福祉局健康政策課	歩こう動こう脱メタボプロジェクト～アールークワーク仙台～	市民の歩数アップや歩くことの定着化を図ることを目的に、「アールークワーク仙台」として、仕事(ワーク)や暮らしの合間に楽しみながら歩く(アールーク)ことを促す取り組みとして、ウォーキングイベントの開催、健康づくりに関する特設ウェブサイトを開設し周知した。	継続
50	環境局環境共生課	生物多様性保全推進事業	カッコウやカジガエルなど仙台にゆかりのある生きものに着目し、多様な主体と連携しながら、自然や生きものと直接ふれあい、その魅力や大切さについて学ぶ機会の充実を図る。	継続
51		四ツ谷用水再発見事業	広瀬川の四ツ谷堰から取水し、かつての城下町を潤した四ツ谷用水の周知と継承を図るため、四ツ谷用水跡をたどる歩く会、四ツ谷用水フォーラムなどの啓発イベント等を実施する。	継続
52		自然環境に関する基礎調査	保全上重要な動植物、学術上あるいは景観保全上重要な地形・地質、自然現象等について整理し、様々な環境施策の検討や各種公共事業・開発事業の持続可能な方向への誘導に資する。(5年毎に2年にわたって調査を実施、直近は令和2年度及び令和3年度に実施した。)	継続 (R5は実施無し)
53	環境局環境対策課	水質・底質調査	河川の水質・底質(泥)及び、広瀬川の清流を守る条例の水質保全区域における工場・事業場の排水を調査する。	継続
54	経済局農政企画課	広瀬・名取川水系さけます増殖協会への参加	採卵・放流事業やふ化場管理・整備の助成等を行う協会へ参加し、さけ・ます資源の積極的増殖を図る。	継続
55		淡水魚放流事業補助	広瀬川にあゆ、いわな等の稚魚の放流事業を行っている「広瀬名取川漁業協同組合」へ補助を行う。	継続
56	経済局農林土木課	愛宕堰改修事業	老朽化の著しい固定堰を利水・治水・環境に配慮した新堰に改修する。	継続 (R5は実施無し)
57	建設局下水道計画課	仙台市公共下水道事業(宮城処理区)	平成21年に公共下水道整備は概成したが、引き続き広瀬川の水質保全、公衆衛生の向上を図るため、汚水処理施設の整備事業等を継続する。	継続
58		合流式下水道雨天時越流水対策事業	合流式下水道について、雨天時の越流に対応するための改善事業を実施する。	継続
59	建設局下水道調整課	仙台市浄化槽事業	広瀬川上流域の下水道区域外の地域で、公設公管理型の浄化槽事業を推進する。	継続
60	建設局公園整備課	青葉山公園整備事業	藩政時代からの歴史的・文化的資源や自然景観を生かしながら、市民や仙台を訪れた人が親しむことのできる杜の都のシンボルとなる公園として整備する。	継続
61		西公園整備事業	樹林や広瀬川の自然を生かしつつ、多様な市民活動が展開される「やすらぎとにぎわいの空間づくり」をテーマに、市街地の「みどりの回廊」の拠点にふさわしい公園として再整備する。	継続

No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介	R5年度実施状況
62		広瀬川の魚・環境の展示	仙台市科学館の常設展示コーナーで、広瀬川の魚全種のアクリル封入標本と、水槽による実物展示や、広瀬川の源流から河口までの流域模型と水が流れる体感展示を行う。ただし、令和5年度は秋以降のリニューアル工事に伴い、4階に常設しているアクリル封入標本並びに水槽による実物展示が見られなくなる。	継続
63	教育局科学館	総合学習・自然観察会等の学習支援	広瀬川をテーマとする総合学習・自然観察会等の実施への支援・協力を行う。	継続 (R5は広瀬川周辺の小学校では実施無し)
64		広瀬川自然展示コーナー	片平市民センター内の仙台市科学館広瀬川自然展示コーナーにおいて、四谷用水やそれを支える仙台の地質・地形などに関して、プロジェクションマッピングを活用した展示を実施している。	継続
65		緑化助成・緑化木交付	広瀬川の清流を守る条例の環境保全区域内行為許可した土地に緑化を実施する場合に助成を行う。	継続
66		仙台市広瀬川清流保全審議会の運営	広瀬川の清流を守る条例に基づき、広瀬川の清流を守るための重要事項を調査・審議する目的で、本審議会を開催する。	継続
67		六・七郷堀非かんがい期通水事業	六・七郷堀の悪臭の抑制、景観の改善のため、H17年1月から開始した非かんがい期通水事業を継続する。	継続
68		広瀬川ホームページ	広瀬川に関する自然・歴史・文化・市民活動・インタビュー・研究レポートなど、多様な情報発信と意見交換の場を提供する。また「広瀬川魅力創生サポーター」の制度や認定団体を紹介する。	継続
69		観光資源としての広瀬川の魅力発信	携帯用散策マップ「広瀬川へ行く」や「広瀬川ホームページ」などを活用・更新し、観光資源としての魅力を発信する。	継続
70	建設局百年の杜推進課	市民協働事業の推進	広瀬川に関わる市民参加型事業の企画推進を図り、他機関と協働して創生プラン推進に努める。(広瀬川創生係による創生プランの推進)	継続
71		広瀬川市民活動マップの作成	広瀬川をフィールドとしたNPO等の活動マップを広瀬川ホームページ上で公開し、広く周知・活用を図る。	継続
72		広瀬川フォーラム等の開催	広瀬川をフィールドとした分野ごとの活動内容の発表や、テーマ・流域毎に広瀬川に関する課題等を共有し、広く情報発信を行っている。	継続 (R5は実施無し)
73		市民センターとの連携	各市民センターで行われる広瀬川に関する事業を、「広瀬川ホームページ」に掲載したり、講師の紹介・派遣を行うなど市民センターとの連携を推進する。	継続 (R5は実施無し)
74		広瀬川自然体験学習	小学生とその保護者を対象にしてプロのインストラクター指導のもと、川の生き物探しや、川での安全な歩き方などを学びながら自然豊かな広瀬川を体験してもらう。	継続
75		広瀬川スマホ写真教室	広瀬川沿いの見どころを徒歩で巡りながら、スマートフォンによる写真撮影の仕方や編集などの基本について学び、広瀬川の自然・歴史・文化等に触れつつ、広瀬川の魅力を再発見する。	継続
76	#広瀬川 インスタクラブ 建設局百年の杜推進課	仙台市公式 #広瀬川 Instagramに掲載する情報収集と更新	広瀬川に関する行政の取り組み(治水・利水・親水)をインスタグラムをとおして発信し、市民の広瀬川への関心がより一層高まるよう醸成を図る。また、広瀬川創生プランに関わる各協力団体の活動をInstagramを通じて情報発信し、広瀬川をめぐるさまざまな市民活動への市民の関心を喚起する。(川歩き等の市民イベント同行による情報発信)。更に、定期的にアクセス解析を実施し、情報発信の改善につなげる。	継続
77	東北工業大学 建設局百年の杜推進課	東北工業大学ライフデザイン学部生連携事業	東北工業大学ライフデザイン学部の授業の取り組みに協力する形で、学生に広瀬川について学ぶ機会を提供する。	継続
78	小田 隆史先生 建設局百年の杜推進課	「地誌学」学外実習連携事業	小田 隆史先生が東北学院大学で担当する授業「地誌学」の学外実習に協力する形で、学生に広瀬川について学ぶ機会を提供する。	小田先生が東京大学へ転任されたため実施無し
79	片平市民センター 建設局百年の杜推進課	広瀬川界隈ぶらり散歩	片平地域は仙台市の中心部にあり、藩政時代から残る由緒ある史跡や自然が共存している風光明媚な場所です。市民センターで養成した広瀬川ボランティアガイド「広瀬川をゆっくり歩く会」の案内で、広瀬川を中心に地域をめぐり、魅力を伝えていきます。	継続
80		広瀬川ガイドの養成	広瀬川の魅力を語りながら各スポットを案内する、地域の「広瀬川ガイド」を養成する。	継続
81	宮城県仙台二華高等学校	広瀬川フィールドワーク	仙台二華高等学校は課題研究の主題として「世界の水問題の解決」を掲げ探究活動を行っています。中学では泉ヶ岳や北上川をフィールドに探究学習を行い、高校では広瀬川、北上川、メコン川というように、県内を流域とする身近な生活に影響を与えている水利用から、県を超えて水利用が進む姿、そして国境を越えて水の利用が進むメコン川と段階を進めて探究活動をしています。 特に、令和5年度から広瀬川の水の利用を学ぶことで、身近な生活の場面に生かされる水環境について考えていきたいと活動を進めています。	5月18日実施
82	こども若者局 子育て応援プロジェクト推進担当	令和5年度仙台市プレーパーク活動普及啓発事業	子どもの遊びの環境を充実させることを目的に、広瀬川河川敷等に子どもの遊び場を一時的に仮設し、子ども達が自発的に遊ぶ機会を提供するとともに、プレーパーク活動の啓発や担い手の発掘、遊びを引き出すスタッフの育成を行う。	大橋上流左岸側・せせらぎ水路で8月19日・20日実施

No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介	R5年度実施状況
83	FEEL Sendai 杜の都の市民環境教育・学習推進会議	杜々かんきょうレスキュー隊事業プログラムNo.5「川で遊ぼう～あんぜんに・たのしく・やさしく～」	杜々かんきょうレスキュー隊事業は、杜の都仙台の特色ある自然環境・社会環境を素材に、環境NPOなどが環境学習プログラムを作成し、提供する事業です。プログラムを体験し、身近な自然や地球を守るために環境に配慮した行動の取れる人(＝杜々かんきょうレスキュー隊員)となることを目的としています。作成された環境学習プログラムは、市内の小中学校や保育所等を対象に実施し、普及・活用を行っています。環境学習プログラムのうちの1つ「川で遊ぼう～あんぜんに・たのしく・やさしく～」は、川に入つての活動をする際に適した装備や行動、そして危険箇所等を学ぶと共に、実際に川に入って魚や水生生物を採取し観察します。	大橋上流左岸側・せせらぎ水路で9月25日に実施するなど、広瀬川・名取川・七北田川などで35件実施
84	いいい川・いいい川づくり実行委員会	第15回いいい川・いいい川づくりワークショップ in 東北	<p>「いいい川・いいい川づくりワークショップ」は、名前のとおり、これぞ“いいい川”、“いいい川づくり”という事業、活動を全国から募集し、2日間かけた公開選考会方式の発表、議論のプロセスを通じて、“いいい川”・“いいい川づくり”のイメージや評価の視点、取り組みのヒントなどを参加者全員で探り、共有していこうという大会です。この大会は、私たちがめざす川や水辺はどんな姿なのか、私たちにとって“いいい川・水辺”とはどんなことなのか、自由に柔軟に探っていこうと、各地で活躍する市民・住民・行政に呼びかけ1998年に始まりました。これまで開催(通算24回)で、応募総数は延べ1264件となっています。回を重ねるなかで、身近な川から流域全体、全国規模の取り組みまで、また、源流域や湖沼、用水、湿地、海浜といったさまざまな水辺、下水道や雨水、水循環など、対象とする領域やテーマを広げてきました。地域、世代、立場を越えたさまざまな人たちが一堂に会し、2日間にわたる驚きと感動にあふれた公開選考会、交流が行なわれます。みなさんの自慢の“いいい川”・“いいい川づくり”を持って、是非、ご参加下さい。</p> <p>【第15回 “いいい川”・“いいい川づくり”ワークショップ in 東北】</p> <p>・日時: 2023年9月30日(土) 10:30～17:30 開会式、全体発表会、テーブル選考、全体集会ほか</p> <p>10月1日(日) 9:30～15:00 復活選考、入選者発表会、全体選考・公開討論会、表彰式</p> <p>※大会前日9/29(金)は、仙台市内の水辺や活動現場を訪ねる現地見学会を開催します。</p> <p>・会場: 東北大学 青葉山コモンズ(仙台市青葉区荒巻字青葉468-1)</p> <p>・主催: いいい川・いいい川づくり実行委員会(実行委員長: 宮口侗 ほか約80名)</p> <p>* 現地実行委員会事務局(NPO法人水・環境ネット東北)</p>	9月30日、10月1日実施

実施件数: 68件

広瀬川創生プラン 令和6年度取組事業一覧

参考資料 5

 : 令和6年度に新規追加・拡充された取組事業

 : 令和6年度重点事業



No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介
1	広瀬川創生プラン 策定推進協議会	広瀬川創生プランにおける重点事業の実施と進行管理	重点事業の設定段階から、各主体が協働し、役割分担に応じプランの重点事業を実行・進行管理する。
2		広瀬川ゴールドサポーター認定に対する意見の発信	広瀬川ゴールドサポーターの認定・不認定の決定にあたり、仙台市の審査結果に対して意見を発信する。
3	広瀬川市民会議	親水空間の利活用の検討推進	広瀬川における親水空間の利活用を推進するための検討を行う。
4		広瀬川市民会議の拡充	事務局体制の確立を図るとともに、活動を通じて他の団体との連携拡大を図りながら、多くの市民が参加できるような組織を拡充する。
5	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会	広瀬川1万人プロジェクト	仙台市人口1%の1万人をキーワードとして、広瀬川流域を含む河川・海岸一斉清掃などの啓発活動を実施する。なお、秋の一斉清掃は「広瀬川の清流を守る条例」公布日にちなみ、9月の最終土曜日に実施している。
6		「身近な水環境の全国一斉調査」への参加(広瀬川の水質調査)	毎年6月に全国水環境マップ実行委員会が実施する「身近な水環境の全国一斉調査」に参加し、広瀬川の上流から下流までの数地点の水質調査を行う。
7	(公財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク	「水の神さま」プロジェクト	地域に祀られている龍神碑・水神碑・不動尊など水にまつわる神さまを題材に、地元住民へのヒアリングを通して、地域住民の水に対する思いや水辺の変化などを踏査・発信する。震災後は沿岸地域を中心に調査・発信を実施。
8		水環境学習における指導者向け入門講座	水環境学習を手がける学校教諭・市民活動者などを対象に、SDGsの視点も取り込んだ水環境学習に対する基礎的な理解のためのセミナーなどを実施する。
9	(公財)日本野鳥の会 宮城県支部	定例探鳥会の実施	大橋からの野鳥観察を含む青葉山定例探鳥会を、原則として毎月第1日曜日に、青葉山平日探鳥会を5月と12月に、千代大橋付近の野鳥を観察する広瀬川下流探鳥会を3月に開催する予定。
10		せんだいセントラルパーク構想	社の都仙台のシンボルである青葉山や広瀬川が地下鉄東西線と交差する広瀬川流域一帯において、資源発掘や「5つの楽しみ方 佇むピクニック・巡るまち歩き・集うマーケット・知るミュージアム・食のカフェレストラン」を提案し、市民の参加・共感の輪を広げる構想。巡る楽しみを充実させるための社会実験として「水上フットパス」を設置。水辺・絆プロジェクトへの申請を予定。
11		伊達な川床	全国都市緑化フェアにおいて、官民協働により、河川空間の自然を楽しめるような伊達(人目をひくオシャレ)な仮設の川床を設置し、広瀬川大橋周辺を市民も観光客も訪れることができる名所とする。
12	(特非)都市デザインワークス	大橋リバーフロントプロジェクト	大橋を中心とした広瀬川河川空間及び、広瀬川に面する青葉山公園(仮称)公園センター、西公園、住宅や店舗、またその庭先等のまち空間を、一体的なせんだいセントラルパーク重点エリアと位置づけ、全国都市緑化フェアにおいて、都市生活や活動賑わいの小さな拠点(パークハウス)を設置し、沈下橋や潜り堰または飛び石による歩行者ネットワークを創出する等して、広瀬川大橋周辺を市民も観光客も訪れることができる名所とする。
13		水辺で乾杯	水辺での全国的な取組み「ミズベリング」のイベントであり、7月7日午後7時7分に世界の水辺で乾杯するもの。
14		広瀬川自転車ライド	環境に優しく心身の健康に繋がる「自転車」を活用し、広瀬川の河川敷をルートに含むグループライドを実施し、新しい生活様式に合ったレクリエーションのあり方を提示する。
15	(特非)都市デザインワークス 青葉山エリアマネジメント 青葉山・八木山フットパスの会	もりの庭園 雨庭づくり	仙台市第一号の雨庭「もりの庭園」を市民の力で、もっと魅力的な場所にするプロジェクト。雨庭とは、建物の屋根や舗装された地面に降った雨水が外に流れ出して排水管などを溢れさせたりしないように、雨水を一時的に溜めて、ゆっくりと地下に染み込ませる庭のこと。
16		カヌーで河川清掃クリーンアップ広瀬川	カヌーで河川清掃「クリーンアップ広瀬川」& 体験会は、毎年8月お盆翌週の日曜日開催しています。お世話になっている広瀬川の岸辺に漂着したゴミを川の中から清掃します。午後は、新しい仲間を迎える「カヌー体験会」を同じ会場で開催しています。お一人さまはもちろん、ご家族、お友達でチャレンジください。
17		カヌーリバーレスキュー・ワークショップ	リバービープル必須のレスキュー方法をワークショップ形式で開催しています。カヌーに関わらず多くの川遊びの皆さんを対象に募集しています。水の事故から自身を守るため、ライフジャケット着用での流下方法、ロープレスキュー方法をこの機会に体得ください。
18	仙台市カヌー協会	広瀬川カヌーツーリング・そのためのレッスン	5~11月 広瀬川でカヌーツーリングを楽しむための4回シリーズのカヌーレッスン。卒業後は落合から折立まで3.5kmの川旅にチャレンジです。
19		市民総体カヌーフアン斯拉ローム大会	カヌーのツーリング・レスキュー技術をゲーム形式にしたものです。年齢、性別、国籍一切不問で楽しんでいるカヌー仲間ですが、この試合では良きライバルに。試合後は、銅を囲みつつ互いの技術を賞賛する場になっています。
20		カヌー体験会	シーズン4~5回、河川清掃などのイベントに合わせて「カヌー体験会」を開催しています。短い時間ですが、カヌーを通じて川に親しんでいます。体験会のまともはプッチーリング。ふわふわする水面。川から見上げる景色をお楽しみください。

No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介
21		広瀬川市民会議との協働	1980年アユ釣り仲間と任意団体として発足。 1974年仙台市が「広瀬川の清流を守る条例」に定めた市長、事業者、市民の責務を明確にした「市民協働の川づくり」に共感し、「広瀬川の清流を守る会」としました。 2001年4月に法人化。河川法に定めた「治水・利水・環境」のバランスある川づくり活動をしてきました。本会は市民、行政関係者と共に清流保全活動を推進し、広瀬川の自然、歴史、文化を守りながら後世に伝える活動に務めました。水辺から環境学習の場とし、五感で感じる川体験や魚の観察、ホテルが生息する支流川でホテル飼育と観察会を開催し、小学校や地域連携による学びを展開してきました。
22		広瀬川清掃	(以下活動紹介) ONPO 法人として関係行政と連携し、法令、条例に基づき環境のバランスある川づくりを目指します。 ○毎月発行の川守通信による広報と行政、市民、事業者と協働し、「いい川づくり」を目指します。 ○川の魅力発見 ・清掃しながら川観察、春夏秋冬の会員相互の親睦会開催(花見・アユ、芋煮、サケを味わう) ・春夏に遡上するアユ、サクラマス他回遊魚の観察 ・冬に飛来するオオハクチョウの観察、植物等、四季を通して観察します ・水面の川学習を支援します ○広瀬川の渇水対策 ・長年継続する広瀬川の渇水による魚類死は、環境問題として大きな課題となっています。 ・その原因は愛宕堰の取水(申請者・仙台市長)によって河川法の維持流量が守られていません。 ・老朽化した堰や破損した魚道。本流の渇水現象に対する環境保全は、行政の必須課題です。 ・背景のダム管理や河川管理(県)に加え、国交省と市が連携し、合理的な改善が求められます。 ・広瀬川の清流を守る条例(市制定50周年)に際し本腰を入れた協働による解決に努めます。 ○活動の参加 ・河川清掃⇒4月～12月、翌年3月/第2土曜日午前10時～12時 ・広瀬川灯籠流し⇒8/20⇒ボランティア参加の方へ(無料招待/8月アユ祭り・11月サケ祭り) ・広瀬川の清流は仙台の象徴。学校や地域で川を学び、清流保全の意識を高め次代へ繋ぐ参加を。 ○SDGs & ESDの実践 ・国交省の河川協力団体(2014年指定)として双方支援活動を継続推進します。 ・広瀬川の課題解決に向け、行政と市民そして関係団体と共に協議し、活動します。 ・広瀬川の自然、歴史、文化を学ぶ場を作り、後世に伝えます。 ・広瀬川を学び・見る、知る、語る。その協働で「いい川づくり」から観光資源に繋げます。 ○ESDの実践/学校教育 ・小中高大学の環境教育は地域資源の原点を図り、未来に向けた環境づくりに貢献する。 ・分かり易く専門的な教育環境をつくるのが求められる。 ・安全な川遊び⇒場所/八本松親水池(バリアフリーの水辺で水遊び・メダカ取り等を五感で感じる) 障がい者も楽しめる/同上(じゃぶじゃぶ池)の活用 ・自然の再生 ⇒広瀬川の渇水改善、身近な水路(四谷用水、郡山堀、木流堀、旧荒川)の自然、歴史) ・水路の整備 ⇒魚類の再生 ・水路の清掃 ⇒環境の保全 ・地域の連携 ⇒環境の維持 ・活動の連携 ⇒環境の向上 ・活動の発信 ⇒環境の協働
23	(特非)広瀬川の清流を守る会	漁協共催 アユ祭り・サケ祭り(八本松親水池)	
24		広瀬川何でも相談室	
25		川づくり提言・市民協働フォーラム開催	
26		笹流し・水辺で乾杯(八本松親水池)／広瀬川灯ろう流し支援活動(宮沢緑地)	
27	広瀬川灯ろう流し実行委員会	第35回広瀬川灯ろう流し「光と水とコンサートの夕べ」	夏の風物詩として、先祖や大切な人への思いは馳せる灯ろう流しや天燈節・竹灯ろう展示、地域団体のステージ発表などを実施する。
28	森民酒造・及川酒店	純米吟醸酒「清流広瀬川」	広瀬川の伏流水と県産米「蔵の華」で仕込んだ純米吟醸酒を製造・販売する。
29	関山街道フォーラム協議会	関山街道の四季フォトコンテスト2024	宮城・山形両県をつなぐ関山街道(国道48号)沿線の四季折々の魅力を写したお気に入りの写真を募集いたします。地域の活性化、観光交流の増加につながることを期待し、応募いただいた写真は国内外に情報を発信できればと考えています。
30		関山街道作並地区を巡る探訪会～「関山街道開鑿殉難之地」の碑での慰霊の集いと隠れ滝探訪～	仙台市青葉区作並にある、関山街道の歴史を今に伝える「坂下境目御番所跡」の「関山街道開鑿殉難之地」の碑(広瀬川源流端の標柱)で慰霊の集いと作並温泉の隠れた名瀑布「熊沢大滝(作並大滝)」や「隠れ滝」の探訪を行います。 ※明治13年7月21日(1880年)「坂下境目御番所跡」で、関山隧道掘削のための火薬の爆発事故で犠牲になられた23名の方に、ささやかな祈りをささげます。
31	白沢カルデラプロジェクト実行委員会	白沢カルデラ外輪山を歩こう会(白沢カルデラ実働部隊)	白沢カルデラ・広瀬川の地質、地形等の自然資産を活かして、地域における大地の成り立ちや歴史を学び、将来的には広瀬川ジオパークとしての登録を目指します。 【以下活動紹介(R6予定)】 5月 白沢五山「大森山」登山 山頂からゼオライト掘削の観察 6月「太白山」自然観察の森 散策コース 9月「秋保」秋保石(塩滝不動尊) 轟々峡 白岩 11月「斎勝沼」古仙台湖の堆積地層から化石観察

No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介
32		河川水辺の国勢調査	河川を「環境」の観点からとらえた生物調査・河川調査・河川空間利用実態調査を定期的に行う。
33	仙台河川国道事務所	広瀬川及び旧荒川環境用水導入事業	広瀬川の水環境を守ることを目的に、夏場の水量の問題を改善するために、既存の水路を活用して名取川からの環境用水導水施設の整備をH16年3月に完了した。流量低下時に名取川から河川水を導水する。(仙台地域水循環協議会にて実施、仙台河川国道事務所は事務局)
34		緊急用河川敷道路整備事業	大地震等の大災害時において、被災者の救援活動、被災地の復旧活動及び物資の輸送等に活用できる緊急用河川敷道路を整備する。
35		河川利用の適正化検討	河川協力団体と連携し、市民目線で見た適正な河川利用のためのルール作りを検討し、河川利用者への啓発活動を実施する。
36		非接触流量観測(電波式流速計)	広瀬川の治水計画立案や工事の実施、又、大規模洪水時の基礎資料を収集する目的で、広瀬川広瀬橋へ電波式流速計を設置している。従来は、浮子(高水流量観測)を用いて流速を観測していたが、流量観測の効率化(DX)や安全管理を徹底するため、非接触型流量観測を実施している。
37	仙台土木事務所	みやぎスマイルリバープログラム(アドプト制度)	宮城県管理河川の一定区間において、清掃や除草などの良好な河川環境づくりに取り組むボランティア団体を「スマイルサポーター」として認定し、地域と連携して環境美化を行う。
38		中州・寄州の樹木管理	中洲・寄州の樹木や土砂について、H17年に策定した広瀬川管理計画に基づき適正管理を行う。
39		広瀬川環境管理協議会	広瀬川管理計画に基づく管理を行い、周辺状況の変化など必要に応じて協議会を開催する。
40	仙台河川国道事務所	護岸の改修・修景	コンクリート護岸の老朽化に伴う改修と同時に、修景を必要な箇所ですら順次対応する。
41	仙台土木事務所	当事者との調整	河川敷の占用をしている人や団体との調整を行い、不法占用を解消する。(広瀬橋から下流は国が、広瀬橋から上流は県がそれぞれ実施。)
42	国立研究開発法人 土木研究所 宮城教育大学 仙台市河川課	竜の口溪谷多自然川づくり事業	令和元年度、広瀬川から竜の口溪谷へ魚類(ヤマメ等の遊泳魚、など)の遡上が可能となるよう、落差工に低コストな切欠き魚道を設置した。設置後は、魚道の設置効果を検証するため、モニタリング調査(施設安定性調査、魚類相調査)を実施してきた。また、本取り組みと並行して、市民向けワークショップ、工事見学会、意見交換会、勉強会等を開催し、魚道設置を契機として河川環境に対する市民の理解・関心を深めることができている。
43	健康福祉局健康政策課	歩こう動こう脱メタボプロジェクト～アールワーク仙台～	歩くことを促すウォーキングイベントの開催と、特設ウェブサイトで身体を動かすきっかけを増やせるような情報や、健康づくり全般に関する情報発信を行う。
44		生物多様性保全推進事業	カッコウやカジカガエルなど仙台にゆかりのある生きものに着目し、多様な主体と連携しながら、自然や生きものと直接ふれあい、その魅力や大切さについて学ぶ機会の充実を図る。
45	環境局環境共生課	四ツ谷用水再発見事業	広瀬川の四ツ谷堰から取水し、かつての城下町を潤した四ツ谷用水の周知と継承を図るため、四ツ谷用水跡をたどる歩く会、四ツ谷用水フォーラムなどの啓発イベント等を実施する。
46		自然環境に関する基礎調査	保全上重要な動植物、学術上あるいは景観保全上重要な地形・地質、自然現象等について整理し、様々な環境施策の検討や各種公共事業・開発事業の持続可能な方向への誘導に資する。(5年毎に2年にわたって調査を実施、直近は令和2年度及び令和3年度に実施した。)
47	環境局環境対策課	水質・底質調査	河川の水質・底質(泥)及び、広瀬川の清流を守る条例の水質保全区域における工場・事業場の排水を調査する。
48	経済局農政企画課	広瀬・名取川水系さけます増殖協会への参加	採卵・放流事業やふ化場管理・整備の助成等を行う協会へ参加し、さけ・ます資源の積極的増殖を図る。
49		淡水魚放流事業補助	広瀬川にあゆ、いわな等の稚魚の放流事業を行っている「広瀬名取川漁業協同組合」へ補助を行う。
50	経済局農林土木課	愛宕堰改修事業	老朽化の著しい固定堰を利水・治水・環境に配慮した新堰に改修する。
51	建設局下水道計画課	仙台市公共下水道事業(宮城処理区)	平成21年に公共下水道整備は概成したが、引き続き広瀬川の水質保全、公衆衛生の向上を図るため、污水処理施設の整備事業等を継続する。
52		合流式下水道雨天時越流水対策事業	合流式下水道について、雨天時の越流に対応するための改善事業を実施する。
53		建設局下水道調整課	仙台市浄化槽事業
54	建設局公園整備課	青葉山公園整備事業	藩政時代からの歴史的・文化的資源や自然景観を生かしながら、市民や仙台を訪れた人が親しむことのできる杜の都のシンボルとなる公園として整備する。
55		西公園整備事業	樹林や広瀬川の自然を生かしつつ、多様な市民活動が展開される「やすらぎとにぎわいの空間づくり」をテーマに、市街地の「みどりの回廊」の拠点にふさわしい公園として再整備する。

No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介
56	教育局科学館	広瀬川の魚・環境の展示	仙台市科学館の常設展示コーナーで、広瀬川の魚全種のアクリル封入標本と、水槽による実物展示や、広瀬川の源流から河口までの流域模型と水が流れる体感展示を行う。 令和6年度は、4月下旬より4階展示室がリニューアルして開館する予定である。4階では広瀬川の魚のアクリル封入標本を再展示するほか、魚の生活をのぞき見る映像展示、広瀬川周辺で見られる野鳥のカービング(模型)を展示する。また、床面には広瀬川全域が描いた図を施すほか、広瀬川を下流から上流へ向かって空を飛んで行くような疑似体験ができる「スカイアドベンチャー」を新設する。 3階展示室のリニューアル工事が令和6年10月より開始されるため、現在の広瀬川の源流から河口までの流域模型と水が流れる体験展示は半年間の運営となる。
57		総合学習・自然観察会等の学習支援	広瀬川をテーマとする総合学習・自然観察会等の実施への支援・協力を行う。
58		広瀬川自然展示コーナー	片平市民センター内の仙台市科学館広瀬川自然展示コーナーにおいて、四谷用水やそれを支える仙台の地質・地形などに関して、プロジェクションマッピングを活用した展示を実施している。
59	建設局百年の杜推進課	緑化助成・緑化木交付	広瀬川の清流を守る条例の環境保全区域内行為許可した土地に緑化を実施する場合に助成を行う。
60		仙台市広瀬川清流保全審議会の運営	広瀬川の清流を守る条例に基づき、広瀬川の清流を守るための重要事項を調査・審議する目的で、本審議会を開催する。
61		六・七郷堀非かんがい期通水事業	六・七郷堀の悪臭の抑制、景観の改善のため、H17年1月から開始した非かんがい期通水事業を継続する。
62		広瀬川ホームページ	広瀬川に関する自然・歴史・文化・市民活動・インタビュー・研究レポートなど、多様な情報発信と意見交換の場を提供する。また「広瀬川魅力創生サポーター」の制度や認定団体を紹介する。
63		観光資源としての広瀬川の魅力発信	携帯用散策マップ「広瀬川へ行こう」や「広瀬川ホームページ」などを活用・更新し、観光資源としての魅力を発信する。
64		市民協働事業の推進	広瀬川に関わる市民参加型事業の企画推進を図り、他機関と協働して創生プラン推進に努める。(広瀬川創生係による創生プランの推進)
65		広瀬川市民活動マップの作成	広瀬川をフィールドとしたNPO等の活動マップを広瀬川ホームページ上で公開し、広く周知・活用を図る。
66		広瀬川フォーラム等の開催	広瀬川をフィールドとした分野ごとの活動内容の発表や、テーマ・流域毎に広瀬川に関する課題等を共有し、広く情報発信を行っていく。
67		市民センターとの連携	各市民センターで行われる広瀬川に関する事業を、「広瀬川ホームページ」に掲載したり、講師の紹介・派遣を行うなど市民センターとの連携を推進する。
68		広瀬川自然体験学習	小学生とその保護者を対象にしてプロのインストラクター指導のもと、川の生き物探しや、川での安全な歩き方などを学びながら自然豊かな広瀬川を体験してもらう。
69		広瀬川スマホ写真教室	広瀬川沿いの見どころを徒歩で巡りながら、スマートフォンによる写真撮影の仕方や編集などの基本について学び、広瀬川の自然・歴史・文化等に触れつつ、広瀬川の魅力を再発見する。
70	#広瀬川 インスタグラム 建設局百年の杜推進課	仙台市公式 #広瀬川 Instagram に掲載する情報収集と更新	広瀬川に関する行政の取り組み(治水・利水・親水)をインスタグラムをとおして発信し、市民の広瀬川への関心がより一層高まるよう醸成を図る。また、広瀬川創生プランに関わる各協力団体の活動をインスタグラムを通じて情報発信し、広瀬川をめぐるさまざまな市民活動への市民の関心を喚起する。(川歩き等の市民イベント同行による情報発信)。更に、定期的にアクセス解析を実施し、情報発信の改善につなげる。
71	東北工業大学 建設局百年の杜推進課	東北工業大学ライフデザイン学部生連携事業	東北工業大学ライフデザイン学部の授業の取り組みに協力する形で、学生に広瀬川について学ぶ機会を提供する。
72	片平市民センター 建設局百年の杜推進課	広瀬川界隈ぶらり散歩	片平地域は仙台市の中心部にあり、藩政時代から残る由緒ある史跡や自然が共存している風光明媚な場所です。市民センターで養成した広瀬川ボランティアガイド「広瀬川をゆっくり歩く会」の案内で、広瀬川を中心に地域めぐり、魅力を伝えていきます。
73		広瀬川ガイドの養成	広瀬川の魅力を語りながら各スポットを案内する、地域の「広瀬川ガイド」を養成する。
74	宮城県仙台二華高等学校	広瀬川フィールドワーク	仙台二華高等学校は課題研究の主題として「世界の水問題の解決」を掲げ探究活動を行っています。中学では泉ヶ岳や北上川をフィールドに探究学習を行い、高校では広瀬川、北上川、メコン川というように、県内を流域とする身近な生活に影響を与えている水利用から、県を超えて水利用が進む姿、そして国境を越えて水の利活用が進むメコン川と段階を進めて探究活動をしています。特に、令和5年度からは、広瀬川の水の利活用を学ぶことで、身近な生活の場面に生かされる水環境について考えていきたいと活動を進めています。
75	FEEL Sendai 市の市民環境教育・学習推進会議	杜々かんきょうレスキュー隊事業プログラムNo.5「川で遊ぼう～あんげんに・たのしく・やさしく～」	杜々かんきょうレスキュー隊事業は、市の都仙台の特色ある自然環境・社会環境を素材に、環境NPOなどが環境学習プログラムを作成し、提供する事業です。プログラムを体験し、身近な自然や地球を守るために環境に配慮した行動の取れる人(＝杜々かんきょうレスキュー隊員)となることを目的としています。作成された環境学習プログラムは、市内の小中学校や保育所等を対象に実施し、普及・活用を行っています。 環境学習プログラムのうちの1つ「川で遊ぼう～あんげんに・たのしく・やさしく～」は、川に入っている活動をする際に適した装備や行動、そして危険箇所等を学ぶと共に、実際に川に入って魚や水生生物を採取し観察します。

令和6年度一斉清掃会場・取組事業マップ

参考資料6

